

## 新年のあいさつ

鬼北町議会議長 山崎 保

新年おめでとうございます。

皆様にはご家族が健康で明るくお揃いで新年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

平成22年の新年にあたり町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、町議会運営につきまして、住民各位の深いご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

現下の国の経済は、急激な円高・デフレなどの加速にともない、景気動向は悪化し、住民生活は、大変厳しい年でありました。

また、政治においても、戦後長年続いた自民党政権から、民主党を中心とする政権へ移行するという大変換の年となりました。新政権においては、しっかりと国民の支える政策選択により、国民が安心して暮らしていける政治を願うものであります。

さて、鬼北町は、四季折々に美しい豊かな自然と四万十川の源流で素晴らしい清流に恵まれた生活環境の中で、文化・伝統継承などを通じて人々の強いきずなを培っていただいているところであります。

しかし、県内でもひと足早い高齢社会を迎えている地域でもあり、今後の課題は、町立北宇和病院を核と

して、住民の医療・保健福祉の更なる充実等を図ることが必要だと考えております。

一方、行政施策としてアルコール工場跡地の利活用、農林・商工業などの産業振興策に積極的な事業展開をして、明るく豊かな町づくりを目指しているところでございます。

また、地域情報通信基盤整備事業により、情報通信網の整備を進めております。

光ファイバーによる、地上デジタル放送・インターネット・携帯電話不 통화地域解消など、町内全域の整備により、快適で文化的な生活が享受できるものと期待をするものであります。

今後におきましても、各事業実施につきまして住民各位のご理解ご協力をお願い申し上げます。

どうか今年が皆様にとって良き年となりますよう祈念いたしまして新年のあいさつといたします。

